

会 議 録

会議の名称	桶川市立桶川西中学校 第4回学校運営協議会	
開催日時	令和5年2月15日(水) (開会) 13:30 (閉会) 15:30	
開催場所	桶川西中学校 図書室	
出席者氏名(委員)	礒田輝昭, 佐々木和明, 青木友子, 水村芳博, 原忠夫, 岸敏雄, 百瀬勉, 遠藤絵美, 竹花功	
欠席者氏名(委員)	今井唯太, 石森一輝	
傍聴者	0名	
議題	(1) 学校評価について (2) 各部からの報告	
協 議 等 要 旨	協議結果	意見の概要
	<p>○校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここまで大きな事件・自己無く過ごすことができた。このまま学年末を迎えられるようにしたい。</li> <li>・新型コロナウイルスによる制限がまだあるが、感染者が減少傾向にあるので、学校行事等をできるだけコロナ前に戻していきたい。</li> <li>・1年スキー学校は好天に恵まれた。2・3年の校外学習も無事に行ってきたい。</li> <li>・3年生の進路は、35名が私立高校等に決定している。2月22日の県公立検査に向けて頑張っている。</li> <li>・学校評価については、教職員の自己評価では昨年度より良い評価となっている。</li> </ul> <p>○第2回学校運営協議会会議録について(教頭)</p> <p>☆協議</p> <p>○学校評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に全教職員を対象に実施した学校自己評価について、「組織・運営」では、校務分掌は組織的に適切に機能しており、各職員が自身の分掌に真摯に取り組んでいる様子が見られるものの、一部の教職員に仕事が偏ってい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・百瀬氏</li> </ul> <p>1・2の評価について、教職員からのコメントはあるのか。</p> <p>⇒(校長)1・2の評価をつけた教職員はほとんどいないため、コメントはほとんどないが、</p>

<p>る部分もあり、ここについては来年度に向けての課題である。授業時数の確保については、教務主任が中心となり、月行事予定作成時に時数計算が確実になされていたため、コロナ禍であっても授業時数が確保され、行事についても適切に行うことができた。</p> <p>・「学習指導」については、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、多くの授業で生徒主体の授業改善がなされている。研修の機会や教材研究を充実させ、生徒の活動を重視して、授業を組み立てるようにさらに改善していく必要があります。また、GIGAスクール構想により、ICT環境が整備され、大型モニターやChromebookを活用した授業が多く展開されるようになったが、まだ研究途上の部分も多く、生徒が主体的に学ぶための道具としての活用については、今後も研究を続けていく。</p> <p>・「生徒指導・教育相談」については、本校では、生徒指導委員会を毎週月曜日に、教育相談部会を毎週木曜日に実施することで、全職員の共通理解のもと、事案に対して組織的に対応ができ、不登校や問題行動、いじめ等の早期発見と適切な対応を行うことができている。また、学期毎に「教育相談週間」を設け、生徒一人一人とじっくり話す時間を作ったのも有効であった。今後も、地域ぐるみで子供達を育てていけるよう、この学校運営協議会を充実していきたいと考える。</p> <p>・「健康教育」については、保健指導や毎月の「ほけんだより」の発行等を通じて、健康についての意識を高めることにより、怪我や病気の予防に取り組んだ。また、食育だより「ランチタイム」を発行したり、給食時に献立や食材について放送で説明したりすることにより、食に関する生徒の意識を高めることができた。</p> <p>・「学習環境」については、生徒が熱心に清掃に取り組んでおり、廊下や階段等に綿ぼこり</p>	<p>B評価となった(6)15「校内研修の課題が設定され、計画的に実施されている」についてはある。</p> <p>・佐々木氏 コメントの内容はどのようなものか。 ⇒(校長)「計画的な運営が不十分。」「研修を行っても、いつも同じ話ばかりで、進んでいないように感じる。」「組織的に進められていない。」「研究が停滞気味とを感じる。研究主任のやる気・リーダーシップを期待する。」という内容であった。研究主任が学校課題研究推進委員会を計画的に開くことができなかった。今回の反省を生かし、来年度は教頭が研究主任に指導し、研究を進めていくようにする。</p> <p>・佐々木氏 上司の思いが職員に伝わっていないのではないか。職員から改善案は出ていないのか。 ⇒(校長)職員からは、指導者を招聘して指導を仰ぎたいという声がある。研究主任とも面談し、研究推進委員にも研究主任経験者がいるので、来年度は確実に実施していく。</p> <p>・青木氏 不登校生徒の人数は何人か。 ⇒(校長)本校では、学力向上と不登校生徒の解消が大きな課題となっており、年間30日以上欠席者(不登校認定)が23人いる。不登校対策についての本校の成果としては、学習支援室を活用することにより、教室に向かう過程がスモールステップとなり、教室には入れないが登校することができる生徒が増えたことである。また、今年度より教育相談週間を学期ごとに設けることで、生徒と担任が話す機会が定期的になり、生徒の安心につながっている。</p> <p>・佐々木氏 不登校生徒は他校と比べて多いのか。 ⇒(校長)他校もほぼ同じ割合であり、桶川市</p>
--	--

<p>もほとんどない状態が保たれている。また、「無言清掃」の定着や、秋から冬の環境委員や運動部等による落ち葉清掃の活動や学校応援団による除草活動もほぼ毎月実施していただいております、きれいな環境が創られている。また、環境委員による花を植える活動が計画されているなど、学校に彩を添えている。今後は、PTAや学校応援団等の協力を得て、更に彩ある学校にしていく。</p> <p>・「教職員の資質向上」については、全項目中唯一のB評価となっており、対策が必要である。本校の学校課題研究として、ICTの活用を取り入れた授業実践を推進している。主体的・対話的で深い学びにつながる効果的な活用について、検証を行ったり、事例について協議したりする体制がまだ十分とは言えず、組織的・計画的な研修の実施が課題となっている。また、教職員事故に関する事例研修や情報共有などを通して、服務規律への意識を高めるとともに、服務の厳正・教員の資質の向上・教職員事故防止等について、定期的に教職員に指示・指導を実施してきた。</p> <p>・「家庭・地域との連携」については、学校だよりや学年通信を毎月発行し、写真を掲載する等、教育活動の情報を流すように努めてきたが、今後は、学校ホームページの充実や学校情報メールの効果的な活用を図るなどして、更に家庭・地域の理解を得られるようにしていく。今後も、地域の感染状況を踏まえながら、できるだけ多く公開の機会を持つようにしていきたい。</p>	<p>全体の課題となっている。他機関とも連携しているが、家庭の後押しが足りないのではないかと感じられる事例もあるので、この学校運営協議会でも協議していきたい。</p> <p>・佐々木氏 保護者自身が自分のことで忙しく、子供の面倒を見られない家庭が多いと思う。 ⇒(校長) 学校としてもどこまで家庭に踏み込んでいいのかは難しい所である。明らかに虐待やネグレクトが認められれば、通告義務があるのだが、逆恨みされる可能性もあり、慎重に対応している。</p> <p>・百瀬氏 不登校からのファーストステップはさわやか相談室ということなのか。 ⇒(校長) 保護者からの相談を受けて、ケースによってはSCにつなぐこともある。</p> <p>・百瀬氏 学習支援室にも来られない生徒はどう対応しているのか。 ⇒(校長) 通常学級に在籍している発達障害の児童生徒の割合は埼玉県では約11%とされている。全国平均の6.7%と比べると割合が多い。医療との連携を図るなどの対応も必要なケースもある。</p> <p>・水村氏 学校だよりの配付日が市広報誌と合っていて、地域としては助かっている。</p> <p>・原氏 A評価が多いのは、日頃の指導の成果だと思う。</p> <p>・遠藤氏 Chromebookは授業でどのように活用されているのか。家庭への持ち帰りは行っているのか。 ⇒(校長) いろいろな教科の授業で活用されており、まとめ作業をグループ内で分業したり、意見を整理したりするなど、主体的な学びを</p>
--	---

	<p>○各部からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備部より</li> </ul> <p>次回OWSUP!の活動は3月5日</p>	<p>展開するためのツールとして活用している。通常では持ち帰りは実施していないが、持ち帰りのためのルールを策定した。学力調査のCBT化やデジタルドリルの導入も予定されており、今後は持ち帰りも含めた活用を推進していく。</p> <p>・佐々木氏</p> <p>コロナでいろいろなことが狂ってしまった。5類に移行することで、今後コロナとどうやって共存していくかを考えながら、学校教育を推進してほしい。</p>
<p>配付資料</p>	<p>(1) 次第 (第2回学校運営協議会会議録、学校評価)</p> <p>(2) 第5回学校運営協議会のご案内</p> <p>(3) 第48回卒業証書授与式のご案内</p>	